佐世保自衛隊後援会だより

（発　行）
佐世保自衛隊後援会
会長　金子　卓也
佐世保市湊町6番10号
（佐世保商工会議所内）
TEL（0956）22-6121

佐世保自衛隊後援会
ホームページ

新年のご挨拶

佐世保自衛隊後援会 会長　金子 卓也

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振返りますと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の衝撃は計り知れず、繰り返される北朝鮮のミサイル発射、さらには中国による尖閣諸島近傍への領海侵犯、力による一方的な現状変更やその試みを続けるなど、我が国を取り巻く安全保障環境は日々深刻の度合いが深まるとともに、これまで先人たちが長い時間をかけて築いてこられた平和への枠組みが脅かされつつあります。

このような状況の中、自衛隊の皆様は国防の最前線に立ち、周辺海域の警戒監視や国際平和協力活動はもとより、近年頻発する大規模自然災害等にも迅速に対応し、被災者の救助や被災地の復旧活動においても大いにご活躍頂くなど、自衛隊に対する国民の信頼と期待は一段と増しています。自衛隊を支援する当佐世保自衛隊後援会といたしましても、全会員一丸となって隊員皆様が円滑に任務遂行できますよう支援していく所存でございます。

さて、昨年政府は「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」の新たな安全関連3文書を策定し、我が国の防衛力強化に向けた基本方針を示されました。今後はこの方針に基づいて防衛力を強化し、我が国の防衛に万全を期すとされています。深刻の度合いを深める国際情勢の中、私たち国民も、自分の国は自分で守るという精神と誇りをもつことは他国に対し大きな抑止力になるのではないでしょうか。

また、1889（明治22）年の佐世保鎮守府開庁以来、基地とともに発展してきた当地佐世保は、現在も海上自衛隊、陸上自衛隊、米海軍が所在する我が国防衛の要衝の地であります。私たちにとりまして基地の存在は、平和と安全を守るための備えであり、平和であり続けるための手段でもあります。混迷の時代にある今こそ、基地とともに発展してきた佐世保だからできる平和教育について検討を進め、今後積極的に推進してまいりたいと存じます。また、本会の重要な使命でもあります市民への自衛隊活動への理解を深めて頂く取組はもちろん、自衛隊行事への協力事業、自衛官募集事業、退職自衛官の再就職支援事業を引き続きすすめるとともに、会員増強、ひいては地域発展のための各種事業に尽力して参りますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様はじめ、自衛隊員の皆様並びにご家族様の今後益々のご多幸とご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

2023（令和5）年元旦

令和4年度 陸上総隊司令官感謝状 贈呈式

2022（令和4）年11月18日（金）、金子卓也佐世保自衛隊後援会会長は朝霞駐屯地内、陸上総隊司令部庁舎（東京都練馬区）において陸上総隊司令官　前田忠男陸将より感謝状の贈呈を受けました。かねてより佐世保市民の防衛意識の高揚をはじめ、当自衛隊後援会会長就任後間もない2019年2月にアメリカペンデルトンで実施された日米共同訓練（アイアンフィスト）に直接出向き、現地で水陸機動団隊員を激励するなど、隊員の士気高揚に尽力された功績を称えられたもの。

◆護衛艦「はるさめ」帰国行事

12月4日（日）、ソマリア沖アデン湾等に第42次派遣海賊対処行動水上部隊として派遣されていた護衛艦「はるさめ」（伴昌幸艦長）の帰国行事が倉島岸壁で開催。帰国行事では浜田靖一防衛大臣より「日本と国際社会に重要な海上交通の安全確保に寄与した」などと訓示がありました。

◆水陸機動団レンジャー帰還式

12月5日（月）、陸上自衛隊水陸機動団の部隊集合教育レンジャー帰還式が相浦駐屯地で行われました。相浦駐屯地にヘリコプターで降り立った21名のレンジャー隊員は、多くの家族や関係者らに迎えられる中、力強く帰還。山地潜入や水路訓練など約2カ月にわたる過酷な訓練を乗り越えた証としてレンジャー徽章が授与されました。

◆護衛艦「のしろ」入港行事

12月16日（金）、新型護衛艦「のしろ」（渡邊真史艦長）が、佐世保を母港とする第13護衛隊に配備され、倉島岸壁にて入港行事が行われました。護衛艦「のしろ」はステルス性を高めた多機能型護衛艦（FFM）の3番艦で、従来の護衛艦よりコンパクトなつくりとなっています。

佐世保商工会議所では退職予定自衛官の地元企業への再就職を支援しています

即戦力となる人材の確保を検討している経営者の皆様へ

退職自衛官再雇用のご案内

自衛隊では、精強性を維持するため、若年定年制（54～57歳）、任期制[1]（主に20歳代）という制度を採用されています。退職予定の自衛官は、在任中に多くの資格、免許を取得、また企業の即戦力となるべく様々な再教育を受けた後に退職されます。企業皆様におかれましては、退職自衛官の再雇用について是非ご検討くださいますようお願い致します。

≪若年定年制自衛官の定年退職年齢（2020年1月～）≫

幹部				准尉	曹	
1佐	2佐	3佐	1・2・3尉		曹長・1曹	1・2曹
57歳	56歳		55歳			54歳

*1 任期制自衛官＝主に高校、大学等を卒業後、2～7年間ほど自衛隊に勤務した主に20歳台の若手人材。

≪退職自衛官再雇用 問合せ窓口≫

（一財）自衛隊援護協会 福岡支部退職自衛官 福岡無料職業紹介所
〒812-0027 福岡市博多区下川端1-3 明治通りビジネススクール（別館）　TEL.092（271）2462

海上自衛隊佐世保地方総監部 援護業務課
〒857-8567 佐世保市平瀬町18番地　TEL.0956（23）9039

長崎地方協力本部 援護課
〒850-0862 長崎市出島町2-25　防衛省合同庁舎　TEL.095（826）8844～6

長崎地方協力本部 佐世保援護センター
〒858-8555 佐世保市大潟町678　TEL.0956（47）2166（内）2366・2367

12/16 護衛艦「のしろ」入港行事

12/ 5 水陸機動団レンジャー帰還式

12/ 4 護衛艦「 はるさめ」帰国行事